

石川県中小企業団体中央会 Facebookページ

facebook

メールアドレス

石川県中央会 facebook

で 検索

アカウント登録

Facebookを使うと、友達や同僚、同級生、仲間たちとつながりを深められ、メール、スマートフォンからもアクセスできます。

石川県中小企業団体中央会 いいね!

いいね!

ファン登録をお願いします。

★より身近な情報提供を行います。
★アンケートなどを行って、より充実した情報を発信します。
※なお、ファン登録を行うためには、Facebookアカウントを取得(無料)する必要があります。

石川県中央会
フェイスブック
ページ
掲載事例の
ご紹介

石川 中央会報

2014
特集号

中小企業の労働事情

～平成25年度中小企業労働事情実態調査結果報告～



いしかわりきゅる研究会

石川県下の酒販店の有志で組織する「いしかわりきゅる研究会」が2月20日(木)に「金沢ゆわく柚子と生姜のお酒」の完成披露式を行った。本数限定での販売ですので、ご興味がある方はお早めに。

【詳細は18ページ記事。】



石川県中小企業団体中央会

「石川県中央会報 2014 特集号」 平成26年3月発行
石川県中小企業団体中央会
〒920-8203 金沢市鞍馬2丁目20番地 石川県地域産業振興センター新館5F
TEL (076) 267-7711 (代表) FAX (076) 267-7720
URL <http://www.icnet.or.jp> E-mail chuokai@icnet.or.jp (代表)

石川県中央会会報

2014

特集号

石川 中央会報

題字

故 安田隆明 名誉会長

中小企業の労働事情

～平成25年度中小企業労働事情実態調査結果報告～

- 2 I 調査のあらまし
- 2 II 回答事業所概要
- 3 III 調査結果の概要
 - 【1】従業員の雇用形態別比率について
 - 【2】労働組合の有無について
 - 【3-①】経営状況について
 - 5 【3-②】主要な事業の今後の方針
 - 【3-③】経営上の障害
 - 【3-④】経営上の強み
 - 6 【4-①】従業員の週所定労働時間
 - 7 【4-②】従業員1人当たりの月平均残業時間
 - 【4-③】時間外労働が割増賃金基準時間を超える頻度
 - 8 【4-④】時間外労働削減の取り組み
 - 【5】従業員の有給休暇
 - 【6-①】新規学卒者の採用について
 - 10 【6-②】平成26年3月の新規学卒者の採用計画について
 - 11 【7】高年齢者の雇用について
 - 12 【8】賃金改定について

事業だより

- 13 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業補助金説明会を開催しました
- 14 開催会場移転のお知らせ ～技で魅せるいしかわの伝統工芸会～
- 14 平成26年度中小企業制度融資説明会開催のご案内

お知らせ

- 15 県内の情報連絡員報告（1月）
- 17 個別専門相談室開設のご案内
- 17 こちら中小企業関連情報室

News

- 18 新聞掲載記事より（会員関係）
いしかわりキュール研究会／協同組合石川県観光物産館
- 23 くみWai広場（石川県いか釣生産直販協同組合）

中小企業の労働事情

I 調査のあらまし

1. 調査目的

本調査は、石川県内における中小企業の労働事情を的確に把握し、適正な中小企業労働対策の樹立、並びに時宜を得た中央会労働支援方針の策定に資することを目的とする。

2. 調査機関

石川県中小企業団体中央会

3. 調査時点

平成25年7月1日(月)

4. 調査実施期間

平成25年7月1日(月)から平成25年7月10日(水)まで

5. 調査実施方法

石川県下の事業所を、業種別・従業員規模別に選定し、調査票を送付し回答を求めた。調査結果は石川県中小企業団体中央会において集計し取りまとめた。

6. 調査対象事業所数

800企業（製造業55%、非製造業45%）

7. 調査内容

- ☐経営に関する事項
- ☐労働時間に関する事項
- ☐有給休暇に関する事項
- ☐新規学卒者に関する事項
- ☐高齢者の雇用に関する事項
- ☐賃金改定に関する事項

8. 調査票様式

調査票は全国中小企業団体中央会が作成した統一様式。後掲「平成25年度中小企業労働事情実態調査票」。

II 回答事業所概要

調査票送付数：800企業

回答事業所数：384企業（回収率：48%）

<業種別回答企業数>

業 種	回答数
1. 食料品、飲料・たばこ・飼料製造業	24
2. 繊維工業	20
3. 木材・木製品、家具・装備品製造業	10
4. 印刷・同関連業	16
5. 窯業・土石製品製造業	12
6. 化学工業、石油・石炭製品、ゴム製品製造業	3
7. 鉄鋼業、非鉄金属、金属製品製造業	53
8. 生産用・業務用・電気・情報通信業・輸送用機械器具製造業	26
9. パルプ・紙・紙加工品、プラスチック製品、なめし革・同製品・毛皮、その他の製造業	27
10. 情報通信業（通信業、放送業、情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業）	14
11. 運輸業	15
12. 総合工事業	18
13. 職別工事業（設備工事業を除く）	10
14. 設備工事業	3
15. 卸売業	56
16. 小売業	26
17. 対事業所サービス業（物品賃貸業、専門サービス業、広告業、技術サービス業、廃棄物処理業、職業紹介・労働者派遣業、その他の事業サービス業等）	35
18. 対個人サービス業	16
合 計	384

注意：業種は回答して頂いた業種によって分類しております。

<従業員規模別回答企業数>

従業員数	回答数
1～9人	92
10～29人	137
30～99人	124
100～300人	31
合 計	384

Ⅲ 調査結果の概要

以降の調査結果においては、前述の単純集計をより見やすくすることで示唆が得られるもの、分析によって有効な結果が出たものを記載しております。

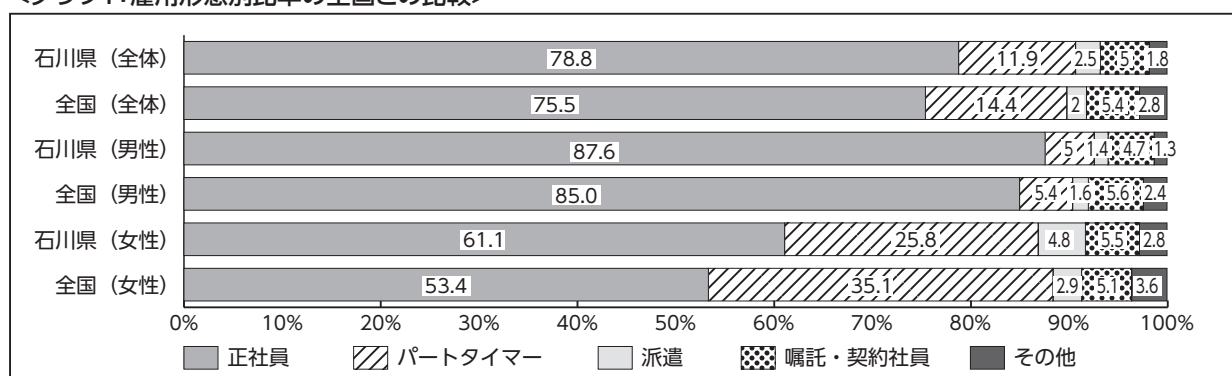
注意：規模や業種による分類等、2つ以上の質問の回答を使用する場合、両方の質問に回答して下さった企業のみカウントしております（単純集計の数値とは異なります）。

設問1) 従業員の雇用形態別比率について

石川県は、全国平均よりも正社員の比率が高く、パートタイマーの比率が低い。

女性は全国より正社員比率が高く、パートタイマー比率が低い。（グラフ1）。

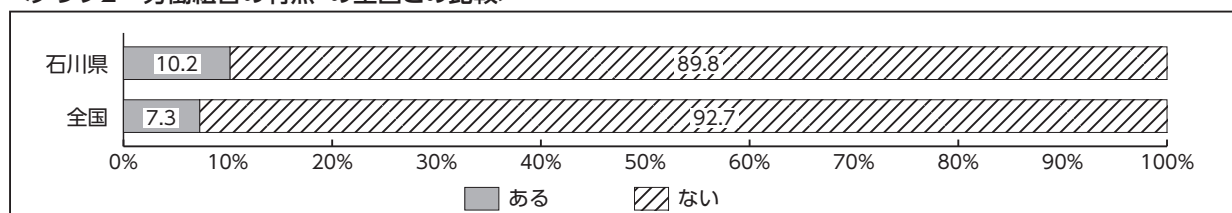
<グラフ1:雇用形態別比率の全国との比較>



設問2) 労働組合の有無について

全国と比較すると、労働組合があると答えた事業所の比率が3ポイント高い。（グラフ2）

<グラフ2:“労働組合の有無”の全国との比較>

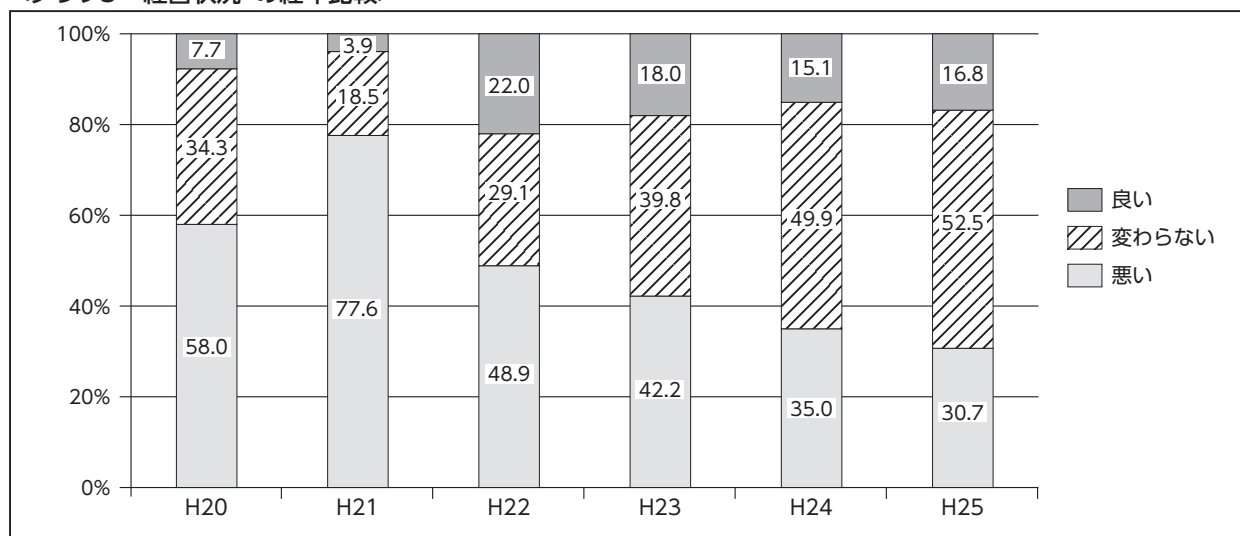


設問3-①) 経営状況について

経営状況について経年変化を見ると、平成22年度以降減少傾向にあった「良い」の割合が本年度上昇した。また、「変わらない」の割合が増えており、「悪い」の割合が減少していることから経営状況は良くなっていると考えられる。（グラフ3）。

中小企業の労働事情

<グラフ3: “経営状況”の経年比較>



次に業種別にみると、主に製造業において「良い」の割合が全業種平均（16.8%）よりも高い。しかし、逆に「悪い」の割合においても製造業が全業種平均（30.7%）よりも高い業種が多い。

非製造業においては、「変わらない」の割合が高い。（表1）。

<表1: “経営状況”の業種別比較>

		良い	変わらない	悪い	事業所数
食料品・飲料・たばこ・飼料製造業	実数	6	9	9	24
	%	25.0	37.5	37.5	100.0
繊維工業	実数	1	10	9	20
	%	5.0	50.0	45.0	100.0
木材・木製品、家具・装備品製造業	実数	2	6	2	10
	%	20.0	60.0	20.0	100.0
印刷・関連連業	実数	3	7	6	16
	%	18.8	43.8	37.5	100.0
窯業・土石製品製造業	実数	5	4	3	12
	%	41.7	33.3	25.0	100.0
化学工業、石油・石炭製品、ゴム製品製造業	実数	1	1	1	3
	%	33.3	33.3	33.3	100.0
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品製造業	実数	10	27	16	53
	%	18.9	50.9	30.2	100.0
生産用・業務用・電気・情報通信・輸送用機械器具製造業	実数	5	9	11	25
	%	20.0	36.0	44.0	100.0
パルプ・紙・紙加工品、プラスチック製品、なめし革・同製品・毛皮、その他の製造業	実数	8	8	11	27
	%	29.6	29.6	40.7	100.0
情報通信業	実数	3	10	1	14
	%	21.4	71.4	7.1	100.0
運輸業	実数	2	4	9	15
	%	13.3	26.7	60.0	100.0
総合工事業	実数	4	10	4	18
	%	22.2	55.6	22.2	100.0
職別工事業（設備工事業を除く）	実数	2	6	1	9
	%	22.2	66.7	11.1	100.0
設備工事業	実数	0	2	1	3
	%	0	66.7	33.3	100.0
卸売業	実数	3	38	15	56
	%	5.4	67.9	26.8	100.0
小売業	実数	2	16	7	25
	%	8.0	64.0	28.0	100.0
対事業所サービス	実数	6	22	7	35
	%	17.1	62.9	20.0	100.0
対個人サービス業	実数	1	11	4	16
	%	6.3	68.8	25.0	100.0

設問3-②) 主要な事業の今後の方針

昨年と比較すると、「強化拡大」の割合が2.4ポイント増えており、設問3-①の経営状況の結果からも経営状況が良くなり、事業拡大を目指す事業所が増えたと考えられる。また、全国と比較すると「強化拡大」の割合が高い。(表2)(規模・業種による分類は割愛する)。

<表2:“主要事業の今後の方針”の昨年度と全国との比較>

		強化拡大	現状維持	縮小	廃止	その他	合計
石川県 (H25)	実数	141	220	15	2	3	381
	%	37.0	57.7	3.9	0.5	0.8	100.0
石川県 (H24)	実数	148	257	16	2	5	426
	%	34.6	60.0	3.7	0.5	1.2	100.0
全 国	実数	5016	12670	940	154	82	18862
	%	26.6	67.2	5.0	0.8	0.4	100.0

設問3-③) 経営上の障害

経営上の障害では、1位「同業他社との競争激化(42.7%)」、2位「販売不振・受注の減少(40.0%)」、3位「人材不足(質の不足)(33.1%)」が多い。

また、昨年と比較すると、「原材料・仕入品の高騰」の割合が高くなっている。

企業規模別に見ると、小規模の事業所では「販売不振・受注の減少」の割合が最も高いが、規模が大きくなるにつれて「人材不足(質の不足)」と「同業他社との競争激化」の割合が増えている。

業種別に見ると、製造業では「販売不振・受注の減少」の割合が最も高く、非製造業では、「同業他社との競争激化」が最も高くなっている(表3)。

<表3:“経営上の障害”の前年度比較>

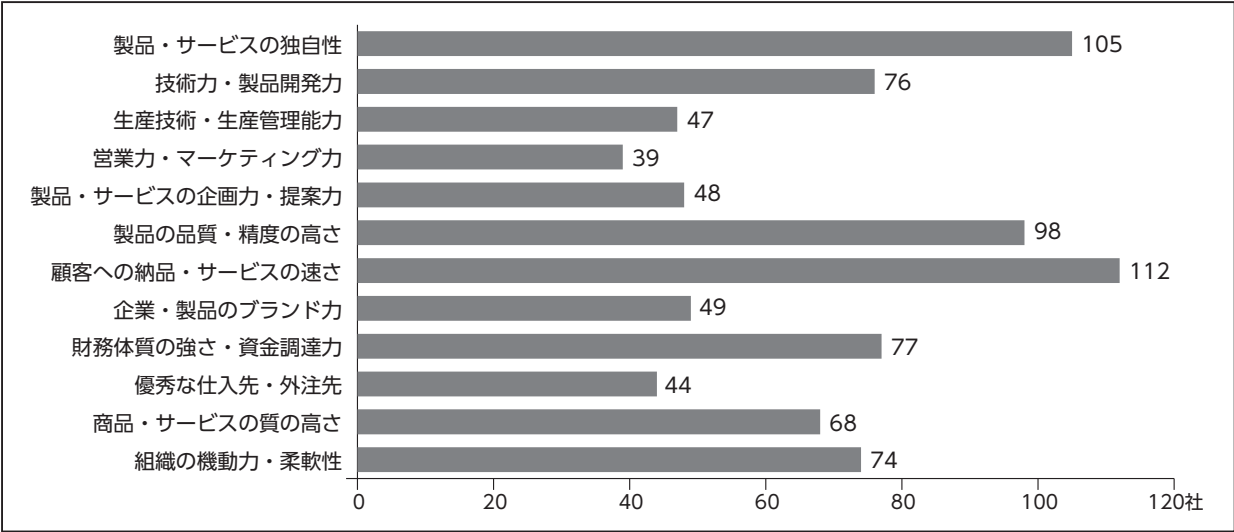
		(労働力の不足)	(人材の不足)	労働力の過剰	人件費の増大	販売不振・受注の減少	製品開発力の不足	競争激化	同業他社との騰	原材料・仕入品の騰	製品価格の下落	取引条件の厳しさ	納期・単価等の厳しさ	金融・資金繰り難	環境規制の強化	総事業者数
石川県(H25)	実数	37	124	7	45	150	72	160	109	63	86	44	10	375		
	%	9.9	33.1	1.9	12.0	40.0	19.2	42.7	29.1	16.8	22.9	11.7	2.7	100.0		
石川県(H24)	実数	31	136	13	50	181	70	179	92	88	88	51	8	426		
	%	7.3	31.9	3.1	11.7	42.5	16.4	42.0	21.6	20.7	20.7	12.0	1.9	100.0		
1～9人	実数	6	16	1	11	46	14	40	26	16	12	16	1	88		
	%	6.8	18.2	1.1	12.5	52.3	15.9	45.5	29.5	18.2	13.6	18.2	1.1	100.0		
10～29人	実数	14	44	3	11	52	24	52	39	25	33	15	7	136		
	%	10.3	32.4	2.2	8.1	38.2	17.6	38.2	28.7	18.4	24.3	11.0	5.1	100.0		
30～99人	実数	15	51	3	19	40	29	52	37	18	31	11	1	120		
	%	12.5	42.5	2.5	15.8	33.3	24.2	43.3	30.8	15.0	25.8	9.2	0.8	100.0		
100～300人	実数	2	13	0	4	12	5	16	7	4	10	2	1	31		
	%	6.5	41.9	0	12.9	38.7	16.1	51.6	22.6	12.9	32.3	6.5	3.2	100.0		
製造業	実数	12	55	6	20	75	41	59	65	34	51	19	5	185		
	%	6.5	29.7	3.2	10.8	40.5	22.2	31.9	35.1	18.4	27.6	10.3	2.7	100.0		
非製造業	実数	25	69	1	25	75	31	101	44	29	35	25	5	190		
	%	13.2	36.3	0.5	13.2	39.5	16.3	53.2	23.2	15.3	18.4	13.2	2.6	100.0		
全国	実数	2281	6093	327	2459	8162	2270	7811	6336	3229	3746	2034	657	18766		
	%	12.2	32.5	1.7	13.1	43.5	12.1	41.6	33.8	17.2	20.0	10.8	3.5	100.0		

設問3-④) 経営上の強み

経営上の強みは、昨年と同じく1位「顧客への納品・サービスの速さ(昨年:29.2%→今年:30.1%)」、2位「製品・サービスの独自性(昨年:27.1%→今年:28.2%)」、3位「製品の品質・精度の高さ(昨年:23.3%→今年:26.3%)」が多い(グラフ4)。

中小企業の労働事情

<グラフ4:経営上の強み>



また、規模別に比較してみると、規模の小さい企業では「顧客への納品・サービスの速さ」、「商品・サービスの質の高さ」の割合が高くなっているが、規模が大きくなると、「製品・サービスの独自性」、「技術力・製品開発力」の割合が高くなっている（表4）。

<表4:企業規模別の経営上の強み>

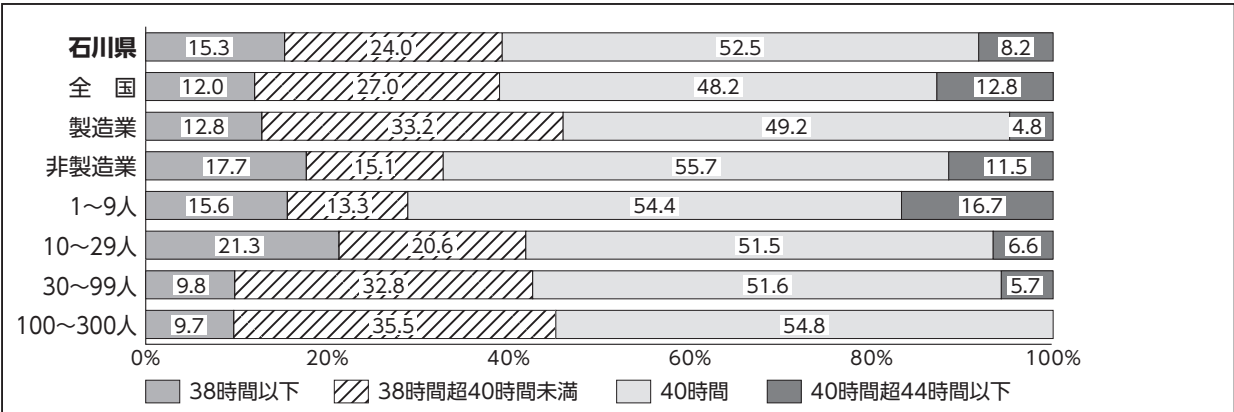
		製品・サービスの独自性	技術力・製品開発力	生産技術・生産管理能力	営業力・マーケティング力	企画力・提案力	製品の品質・精度の高さ	顧客への納品・サービスの速さ	企業・製品のブランド力	資金調達力	財務体質の強さ	優秀な仕入先・外注先	商品・サービスの質の高さ	組織の機動力・柔軟性	事業所数
1～9人	実数	18	20	4	9	6	17	29	11	13	11	11	25	18	88
	%	20.5	22.7	4.5	10.2	6.8	19.3	33.0	12.5	14.8	12.5	12.5	28.4	20.5	100.0
10～29人	実数	43	19	22	15	24	36	36	15	30	15	15	21	33	133
	%	32.3	14.3	16.5	11.3	18.0	27.1	27.1	11.3	22.6	11.3	11.3	15.8	24.8	100.0
30～99人	実数	33	27	16	13	13	37	39	18	28	16	16	17	17	141
	%	27.5	22.5	13.3	10.8	10.8	30.8	32.5	15.0	23.3	13.3	13.3	14.2	14.2	100.0
100～300人	実数	11	10	5	2	5	8	8	5	6	2	2	5	6	31
	%	35.5	32.3	16.1	6.5	16.1	25.8	25.8	16.1	19.4	6.5	6.5	16.1	19.4	100.0

補足：昨年比・全国比はほぼ同様の傾向であった。

設問4-①) 従業員の週所定労働時間

労働基準法で規定されている「週40時間以下」を満たしている事業所は91.8%であり、全国平均の87.2%よりも割合が高い（グラフ5）。

<グラフ5:従業員の週所定労働時間>



※週40時間以下の事業所の割合

石川県：15.3%+24.0%+52.5%=91.8% 全 国：12.0%+27.0%+48.2%=87.2%
業種別にみると、製造業が95.2%、非製造業が88.5%で、製造業の方が割合が高い。

※週40時間以下の事業所の割合

製造業：12.8%+33.2%+49.2%=95.2% 非製造業：17.7%+15.1%+55.7%=88.5%

事業所規模別にみると、規模が大きくなるにつれて「週40時間以下」を満たしている事業所の割合が高くなっている。

※週40時間以下の事業所の割合

1人～ 9人：15.6%+13.3%+54.4% = 85.3%

10人～ 29人：21.3%+20.6%+51.5% = 93.4%

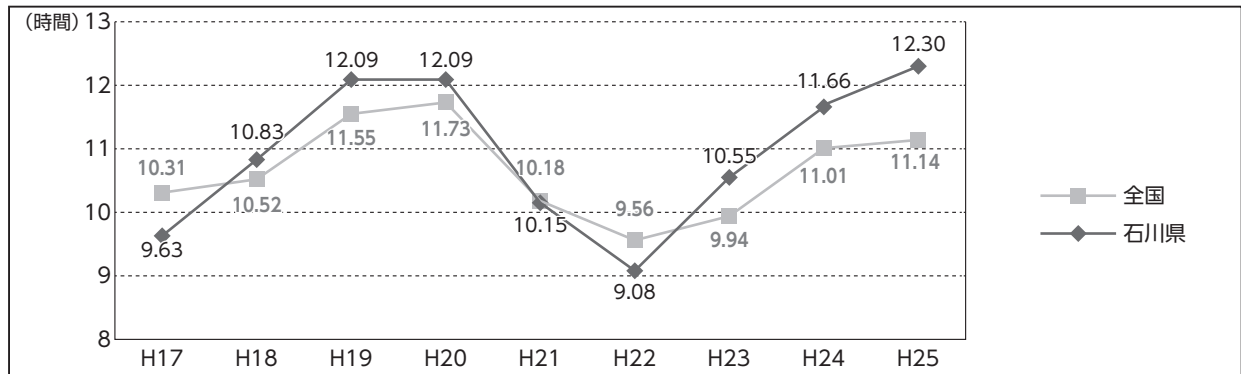
30人～ 99人：9.8%+32.8%+51.6% = 94.3%

100人～300人：9.7%+35.5%+54.8% = 100.0%

設問4-②) 従業員 1 人当たりの月平均残業時間

月平均残業時間は、平成23年から増加しており、今年は過去9年で最大となっている。(グラフ6)。(規模・業種による分類は割愛する)。

＜グラフ6：従業員1人当たりの月平均残業時間の経年変化＞



設問3-①の経営状況別の残業時間を見ると、「良い」と答えている企業ほど平均残業時間が長い(表5)。

＜表5：経営状況別の従業員一人当たりの月平均残業時間＞

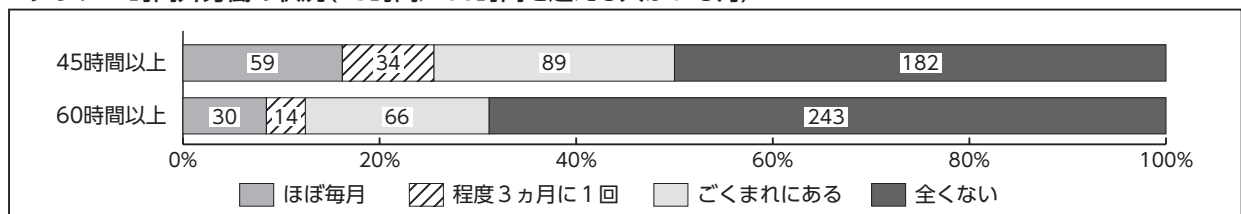
	月平均残業時間
良い	16.59時間
変わらない	11.67時間
悪い	10.89時間

設問4-③) 時間外労働(残業・休日労働)が割増賃金基準時間を超える頻度

半数の事業所が月45時間を超える時間外労働を行っており、およそ3割の事業所が月60時間を超える時間外労働を行っている。

参考：平成22年に労働基準法が改正され、月45時間以上の時間外労働に対しては25%以上の割増賃金、月60時間以上の時間外労働に対しては50%以上の割増賃金を定めることが義務付けられている。

＜グラフ7：時間外労働の状況(45時間/60時間を超える人がいる月)＞

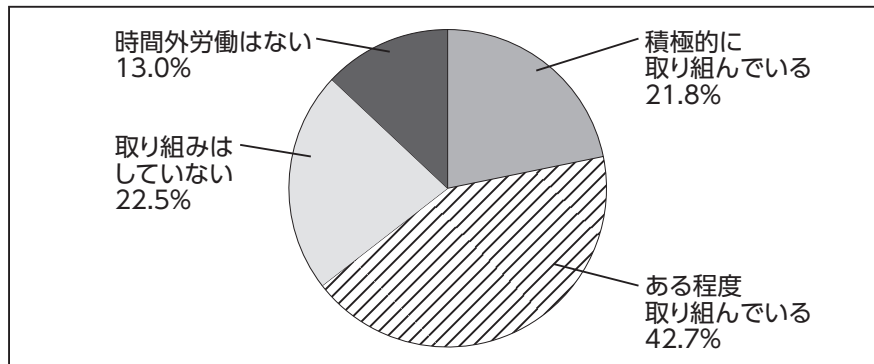


中小企業の労働事情

設問4ー④) 時間外労働削減の取り組み

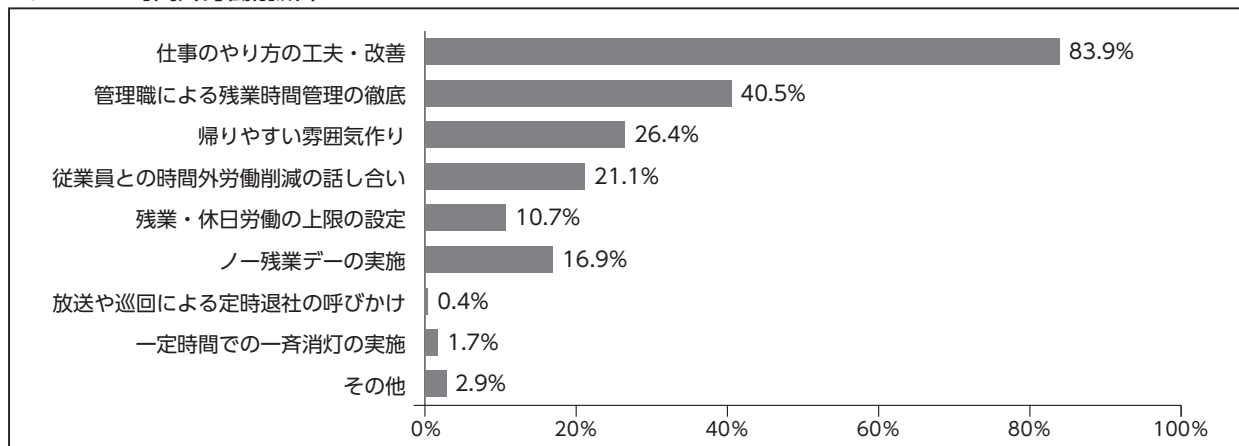
時間外労働削減のための取り組みについて、回答事業所の6割が時間外労働の削減のための取り組みを行っている。(グラフ8)

<グラフ8:時間外労働の削減への取り組みの有無>



また、時間外労働の削減策としては、「仕事のやり方の工夫・改善 (83.9%)」、「管理職による残業時間管理の徹底 (40.5%)」といった取り組みが多い。(グラフ9)

<グラフ9:時間外労働削減策>



設問5ー①) 従業員の有給休暇

年次有給休暇(※)の平均付与日数は全国平均が15.62日であるのに対し、石川県は16.20日であり、全国より0.58日上回っている。しかし、平均取得日数は全国平均が7.29日なのに対し、石川県は6.35日であり、全国より下回っている。(表6)。

<表6:平均取得率の全国比較>

	平均付与日数	平均取得日数	平均取得率
全 国	15.62日	7.29日	49.58%
石川県	16.20日	6.35日	42.20%

※年次有給休暇

労働基準法により、雇入れの日から起算して6ヶ月以上継続勤務し、全所定労働日の8割以上出勤した労働者(パートタイマー含む)に対し、10日を付与することが定められている。

設問6ー①) 新規学卒者の採用について

新規学卒者の採用充足率(※)を全国と比べると、短大卒(含高専)と大学卒において全国平均を下回っている。(表7)。

※採用充足率

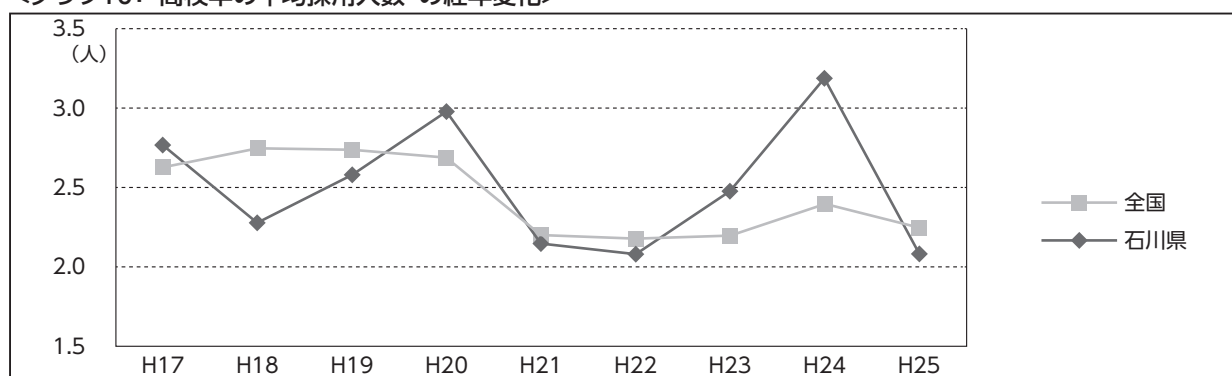
採用計画人数に対する採用実績人数の割合のこと。

<表7:新規学卒者の採用充足率>

	事業所数	採用計画人数	採用実績人数	採用充足率
高校卒（石川県）	45	98	94	95.9
高校卒（全国）	1931	4714	4351	92.3
専門学校卒（石川県）	10	13	13	100.0
専門学校卒（全国）	630	1052	985	93.6
短大卒〔含高専〕（石川県）	14	22	20	90.9
短大卒〔含高専〕（全国）	285	399	374	93.7
大学卒（石川県）	57	122	105	86.1
大学卒（全国）	1404	3522	3162	89.8

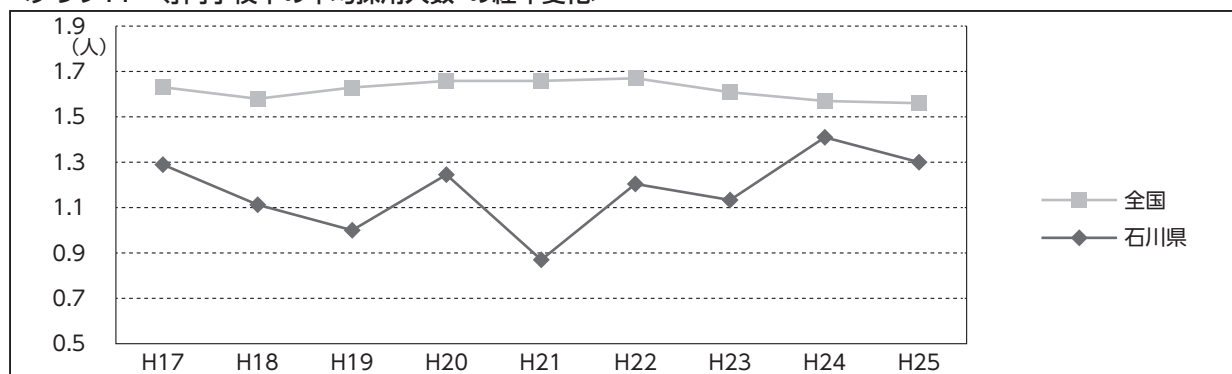
各学卒ごとの平均採用実績人数の経年変化について、今年度の高校卒は大幅に平均採用人数が減っており、過去8年で最低であった平成22年と同値となっている。（グラフ10）。

<グラフ10:“高校卒の平均採用人数”の経年変化>



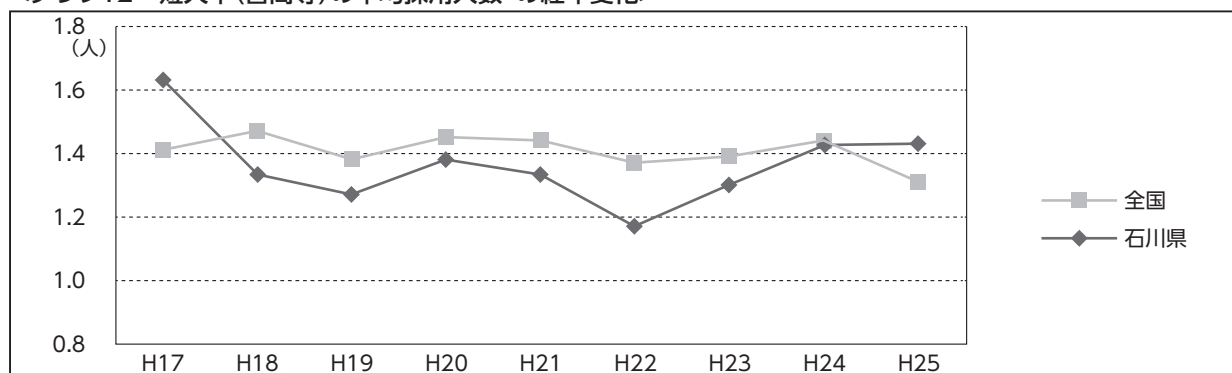
専門学校卒については、例年全国平均を下回ってはいるが、本年度は若干の下降を見せている。（グラフ11）。

<グラフ11:“専門学校卒の平均採用人数”の経年変化>



短大卒（含高専）については、上昇を見せており、平成17年以来初めて全国平均を上回った（グラフ12）。

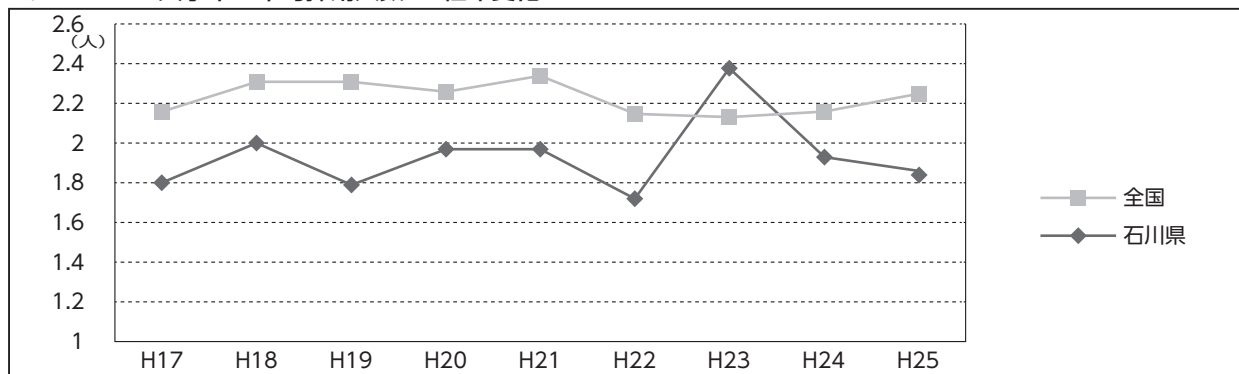
<グラフ12:“短大卒(含高専)の平均採用人数”の経年変化>



中小企業の労働事情

大学卒については、昨年度から減少傾向にあり、今年度も減少を見せている。(グラフ13)。

<グラフ13:“大学卒の平均採用人数”の経年変化>



平均初任給の昨年との比較では、高校卒の技術系・事務系と大学卒の事務系以外は皆減少した。合計の平均では前年を上回っていた。(＋252円) (表8)。

全国平均との比較では、高校卒技術系・事務系、専門学校卒事務系、短大卒技術系の4項目において、全国平均を上回っていた (表9)。資料は掲載していないが、全国平均は昨年比1,174円の上げ幅であった。全国的に昨年より初任給は上げられているが、石川県の上昇率は低い。

<表8:平均初任給の前年比較>

	分類	昨年度	今年度
高校卒	技術系	¥158,649	¥160,844
	事務系	¥156,810	¥185,000
専門学校卒	技術系	¥173,820	¥157,375
	事務系	¥173,333	¥168,000
短大卒 (含高専)	技術系	¥177,039	¥176,103
	事務系	¥167,912	¥159,970
大学卒	技術系	¥192,905	¥191,050
	事務系	¥184,596	¥188,738
平 均		¥173,133	¥173,385

<表9:平均初任給の全国との比較>

	分類	全国	石川県
高校卒	技術系	¥158,214	¥160,844
	事務系	¥151,648	¥185,000
専門学校卒	技術系	¥168,262	¥157,375
	事務系	¥163,419	¥168,000
短大卒 (含高専)	技術系	¥172,995	¥176,103
	事務系	¥168,026	¥159,970
大学卒	技術系	¥193,197	¥191,050
	事務系	¥189,126	¥188,738
平 均		¥170,610	¥173,385

設問6ー②) 平成 26 年 3 月の新規学卒者の採用計画について

新規学卒者の採用計画については、昨年度より「ある」が2.7ポイント多くなっている。全国との比較においても石川県の方が9.6ポイント高くなっており、採用に積極的であることが分かる (表10)。

<表10:“新規学卒者採用計画”の前年比較と全国比較>

	ある	ない	未定	合計
石川県 (H25)	27.9	54.2	18.0	100.0
石川県 (H24)	25.2	54.6	20.1	100.0
全 国	18.3	62.1	19.6	100.0

また、学卒別の採用計画の状況を見ると、高校卒では、製造業が非製造業に比べ事業所数、人数ともに多い。大学卒では、非製造業の方が製造業に比べ採用計画人数が多く、新卒採用に積極的であると考えられる (表11)。

<表11:“新規学卒者採用計画”の規模別比較>

		全体	製造業	非製造業
高校卒	事業所数	65	49	16
	人数	137	96	41
専門学校卒	事業所数	4	0	4
	人数	6	0	6
短大卒 (高専含)	事業所数	19	7	12
	人数	23	8	15
大学卒	事業所数	66	34	32
	人数	146	65	81

設問7) 高齢者の雇用について

平成25年4月より、継続雇用制度高齢者の対象者を労使協定により限定できる仕組みを廃止する「改正高齢者雇用安定法」が施行された。

雇用の有無については、「雇用している」と答えた事業所が77.3%であり、全国（75.2%）より多い。また、事業所の規模別に見ると、規模が大きくなるほど雇用率が高くなり、従業員100人以上の事業所では、97.4%が「雇用している」と答えている。

業種別に見ると、製造業の方が非製造業に比べ雇用率が高い。（表12）

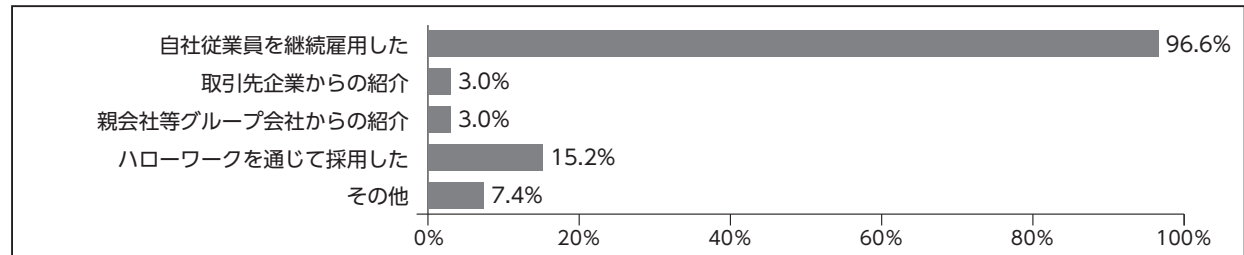
また、平均雇用人数は5.06人で、全国平均（5.26人）を下回っている。

＜表12: 高齢者の雇用の有無＞

	雇用している (%)	雇用していない (%)	総事業所数 (社)
石川県 (H25)	77.3	22.7	383
石川県 (H24)	78.0	22.0	432
全 国	75.2	24.8	19,063
1～9人	51.1	48.9	90
10～29人	77.6	22.4	161
30～99人	90.1	9.9	142
100～300人	97.4	2.6	39
製造業	89.5	10.5	200
非製造業	68.1	31.9	232

次に、高齢者の雇用の経緯について見ると、「自社従業員を継続雇用した（96.6%）」と回答する事業者がもっとも多かった。次いで「ハローワークを通じて雇用した（15.2%）」が多く、「取引先企業からの紹介」、「親会社等グループ会社からの紹介」はともに3.0%に留まった（グラフ14）。

＜グラフ14: 高齢者の雇用形態＞



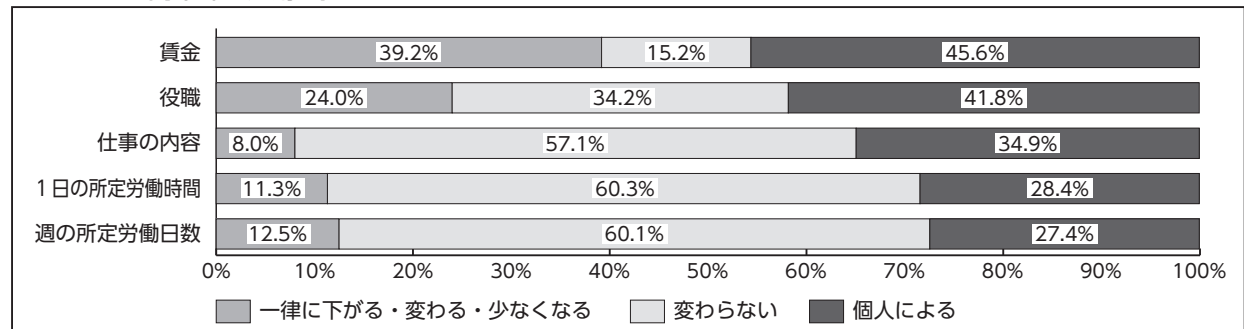
次に、高齢者の労働条件について見ると、賃金と役職については「一律に下がる・変わる」または「個人による」の割合が高く、変化があることがわかる。その他の項目については半数以上が「変わらない」と回答した（グラフ15）。

また、各項目での内容についてみると、賃金を「一律に下げる」と回答した事業所における賃金の減少率は30.91%であり、全国平均である28.85%を上回った。

高齢者の一日の所定労働時間が「少なくなる」と回答した事業所における、一日の平均所定労働時間は5.99日であり、全国平均の6.18日より低い。

高齢者の週の所定労働日数が「少なくなる」と回答した事業所における、週の平均所定労働日数は4.03日であり、全国平均の4.20日より低い。

＜グラフ15: 高齢者雇用の措置＞



中小企業の労働事情

設問8) 賃金改定について

賃金改定の昨年との比較では、「引き下げた」「7月以降引き下げる予定」の割合が低くなり、「7月以降引き上げる予定」の割合が高くなっている。また、全国との比較でも「引上げた」の割合が高い（表13）。

<表13:賃金改定(昨年・全国比較)>

		引 き 上 げ た	引 き 下 げ た	今年 は 実 施 し な い (凍 結)	引 き 上 げ る 以 予 定 降	引 き 下 げ る 以 予 定 降	未 定	事 業 所 数
石川県 (H25)	実数	210	3	74	28	0	69	429
	%	54.7	0.8	19.3	7.3	0	18.0	100.0
石川県 (H24)	実数	236	9	97	20	2	65	429
	%	55.0	2.1	22.6	4.7	0.5	15.2	100.0
全 国	実数	6626	362	4359	1328	131	6025	18939
	%	25.2	1.9	23.1	7.1	0.7	32.0	100.0

また、賃金改定の内容について昨年と比較すると、昇給額、改定後の平均所定賃金ともに上がっている。全国と比較しても、昇給額、平均所定賃金ともに上回っている（表14）。

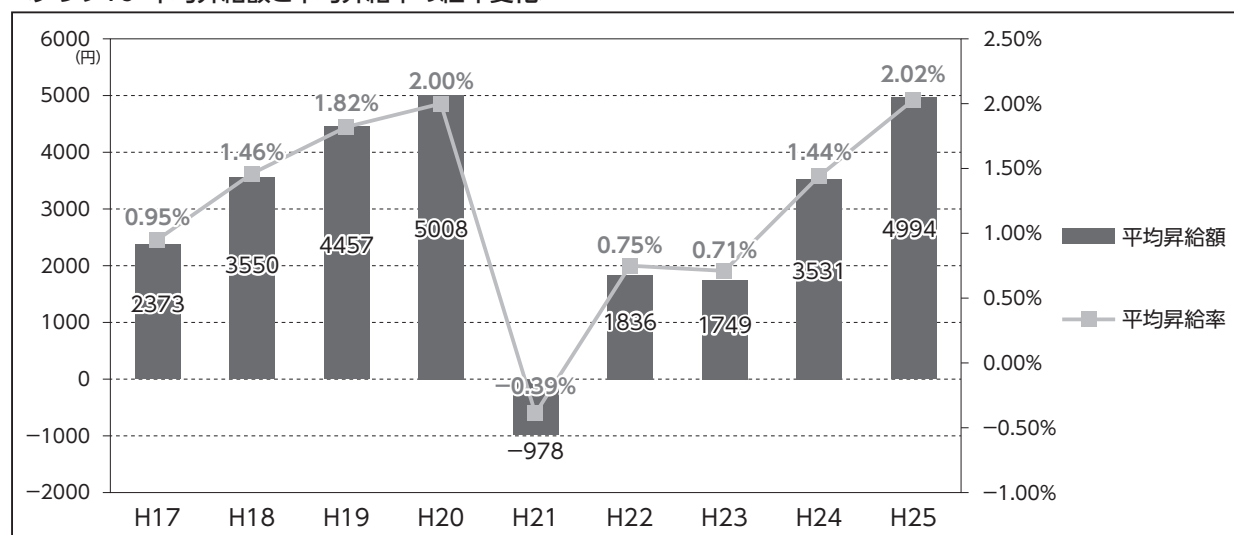
<表14:賃賃金改定内容(昨年・全国比較)>

	改定前の平均所定賃金	改定後の平均所定賃金	昇給額
石川県 (H25)	247,471	252,465	4,994
石川県 (H24)	244,790	248,321	3,531
全 国	242,380	246,329	3,949

注意：表のデータは回答企業の賃金合計を回答企業数で割った単純平均値です。

平均昇給額と平均昇給率の経年変化を見ると、平成20年10月のリーマンショックの際にマイナスとなったが、その後上昇傾向にあり、今年は平均賃金改定額・平均改定率ともにリーマンショック以前の数値に戻りつつある。（グラフ16）

<グラフ16:平均昇給額と平均昇給率の経年変化>



中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業 補助金説明会を開催しました

本会では、去る2月24日(月)石川県地場産業振興センターにおいて、中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業補助金の説明会を開催しました。

当日は、本会 梶川情報企画課課長補佐並びに植松情報企画課係長より、本事業の説明及び公募の手続きについて公募要領に基づき説明を行いました。500名を超える中小企業等関係者にお集まりいただき、この制度に対する関心の高さがうかがわれました。



説明会の様子

<中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業>

【概要】 ものづくり・商業・サービスの分野で環境等の成長分野参入など、革新的な取組にチャレンジする中小企業・小規模事業者に対し、地方産業競争力協議会とも連携しつつ、試作品・新サービス開発、設備投資等を支援する。

○試作品・新商品・新サービス開発や生産プロセスの改善などに使えます。

- ・ 試作品・新商品の開発や生産プロセスの改善、新しいサービスや販売方法の導入などを行う事業に対する補助です。

○通常で1,000万円の補助（補助率：2/3等）が出ます。

- ・ 試作品・新商品・新サービス開発に係る経費（原材料費、機械装置費、人件費等）に使えます。
- ・ 特定分野（医療・環境・エネルギー分野など）への投資に対しては、補助上限を引き上げた1,500万円の補助が可能です。
- ・ 小規模事業者のみに利用可能な特別枠（700万円の補助）があります。

○「認定支援機関」が、事業計画づくりをサポートします。

- ・ 認定支援機関に事業計画の実効性等が確認されている必要があります。

補助対象事業

(1) 成長分野型：補助上限額（1,500万円、補助率2/3、設備投資必要）

- ・ 環境等の成長分野参入に対する試作品開発・設備投資等

(2) 一般型：補助上限額（1,000万円、補助率2/3、設備投資必要）

(3) 小規模事業者型：補助上限額（700万円、補助率2/3、設備投資不可）

- ・ 設備投資を伴わない開発費用を補助

募集期間

今回の公募は1次締切りは4月中、2次締切りは6月中を目処に採択を行う予定です。

- ・ 受付開始：平成26年2月17日(月)
- ・ 1次締切り：平成26年3月14日(金)
- ・ 2次締切り：平成26年5月14日(水)

●詳しくは、下記石川県地域事務局まで、お問い合わせ下さい。

<石川県地域事務局> 石川県中小企業団体中央会「いしかわものづくりセンター」

石川県金沢市鞍月2-2 繊維会館1階

TEL 076-255-6280/FAX 076-255-6279

石川県中小企業団体中央会ホームページ <http://www.icnet.or.jp/>

開催会場移転のお知らせ

～技で魅せるいしかわの伝統工芸実演会～

北陸新幹線開業を来年に控え、観光客の窓口である「金沢ステーションギャラリー」が本年1月をもって、新幹線の工事に伴い使用ができなくなりました。そこで観光客を中心に「伝統工芸王国石川」のPRを行うため場所を「石川県政記念しいのき迎賓館」に会場を移し、実演会を行うことにいたしました。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

＝ 実 施 概 要 ＝

1. 開催日及び実演内容
平成26年2月15日(土)、16日(日): 加賀友禅(彩色)、加賀象嵌
平成26年3月 1日(土)、 2日(日): 加賀友禅(彩色)、輪島塗(蒔絵)
平成26年3月15日(土)、16日(日): 加賀友禅(彩色)、山中漆器(蒔絵)
2. 開催時間 実施日の午前11時～午後4時
3. 実施会場 石川県政記念 しいのき迎賓館
(1階しいのきプラザ前スペース)



しいのき迎賓館実演の様子

平成26年度中小企業制度融資説明会開催のご案内

本会では、中小企業の金融円滑化を図るために下記のとおり標記説明会を開催いたしますので、多数ご参加下さいますようご案内いたします。

また、所属組合員（会員）の皆様へのご周知並びに参加ご勧奨方につきましても、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

※ 事前の申込みは必要ありません。

開催日時	開催場所	制度説明機関
(金沢会場) 平成26年4月8日(火) 13:30～	石川県地場産業振興センター 本館2階第1研修室 金沢市鞍月2丁目1番地 TEL:076-268-2010	・石 川 県 ・(財)石川県産業創出支援機構 ・(社)石川県鉄工機電協会 ・石川県信用保証協会 ・(株)商工組合中央金庫 ・(株)日本政策金融公庫
(小松会場) 平成26年4月9日(水) 13:30～	小松市民センター2階セミナールーム 小松市大島町丙42-3 TEL: 0761-24-6101	
(七尾会場) 平成26年4月10日(木) 13:30～	七尾商工会議所2階大ホール 七尾市三島町70-1 TEL:0767-54-8888	
(輪島会場) 平成26年4月11日(金) 13:30～	輪島商工会議所5階507会議室 輪島市河井町20-1-1 TEL:0768-26-2360	

※ 開催会場近隣市町の制度融資につきましては、各会場において次の資料を用意する予定です。

◎共催:石川県商工会議所連合会、石川県商工会連合会

◎お問合せは:石川県中小企業団体中央会 情報企画課 TEL 076-267-7711

県内の情報連絡員報告

平成26年

1月

○平成26年1月期において、DI値で見ると、昨年同月比をもとに前月との増減を比べた場合、4項目が改善しているものの、その改善幅はわずかであり、主要3項目においては「売上高」はやや後退、「収益状況」「景況」は共にわずか1.7ポイントの改善に留まっていることから、先月と同様停滞感が見られる。

○製造業においては、2項目で改善、3項目で横這い、4項目で悪化と先月同様停滞感が見られるものの、「収益状況」以外は比較的高い水準を維持出来ている状況にある。好調を維持している分野は、駆け込み需要と降雪が少なかったことで取引が活発化した木材・木製品製造業、中国・インド向け繊維機械関連と工作機械関連が好調な一般機器製造業であった。なお、「収益状況」の悪化は、円安によるコスト増によるものである。トータルして横這いの製造業であったが、「設備操業度」と「景況」は好転していたことから、今後に期待したい。

○非製造業においては、2項目で改善、4項目で横這い、2項目で悪化とこちらも先月同様停滞感が見られる。概ね横這いであったのは、雪が少なかったことから冬物の動きが鈍かった小売業、初売りセールは好調であったがその後週末の天候不順の影響を受けた商店街、休みの割に宿泊客は伸びなかった旅館・ホテル業であった。特に落ち込みが激しかった項目は「売上高」で、それは公共事業並びに民間需要が共に落ち込んだことに加え、少雪から除雪作業が激減した建設業、休みが多く全体的に取引量の少なかった運輸業が要因であった。このような中、好調であったのは、消費税増税前の住宅関連資材や新幹線・防災関連需要の多かった卸売業、消費税増税前の買換えと新築住宅用機器需要の大きかった電器小売業であった。

○2014年度採用（14年春入社）状況については、全業種では「2013年と変わらない」が最も多く、「2013年より増加」との回答は11.6%にとどまった。製造業においては、「変わらない」が最も多く、次いで「2013年より増加した」と続いたが、増加したとの割合は14.3%にとどまった。「2013年と変わらない」の理由は、“受注は増えないと考える”“先行きが不透明”というものが多く、来年度の経済環境について、楽観視していない企業が多いようである。一方「増加した」の理由は、一般機器製造業において、“外需が伸びそう”“中小企業の設備投資が増えてきた”というものであり、製造業の中でも限られた分野だけが事業の活発化を期待できるようである。非製造業では、「変わらない」が最も多く、次いで製造業とは異なって、「減少した」と続いた。「変わらない」の理由は、“消費増税後の景況が不透明”“売上が伸びない”が多かった。非製造業は個人消費の影響を強く受けるので、消費増税の影響を懸念しているのと、昨年の調査においても非製造業では景気好転の実感が持てないという声が多かったことから、このような結果になったと考えられる。一方、わずかであったが、「増加した」と回答したのは、旅館・ホテル業で、その理由は“北陸新幹線開業前の人員確保”というものであった。

平成26年

1月期 景況天気図

前年同月比

	全 体	製造業	非製造業
売 上 高	37.9 (-6.9)	48.4 (0.0)	25.9 (-14.8)
在 庫 数 量	6.4 (2.1)	9.7 (-3.2)	0.0 (12.5)
販 売 価 格	1.7 (0.0)	9.7 (0.0)	-7.4 (0.0)
取 引 条 件	-8.6 (-6.9)	-6.5 (-13.0)	-11.1 (0.0)
収 益 状 況	-1.7 (1.7)	-6.5 (-3.3)	3.7 (7.4)
資 金 繰 り	-3.4 (0.0)	0.0 (0.0)	-7.4 (0.0)
設 備 操 業 度	29.0 (6.4)	29.0 (6.4)	—
雇 用 人 員	0.0 (-6.9)	9.7 (-12.9)	-11.1 (0.0)
業界の景況	13.8 (1.7)	22.6 (6.5)	3.7 (-3.7)

※ () 内の数字は前月とのポイント差

全体の景況感

※主要3項目（売上高・収益状況・業界の景況）の平均値



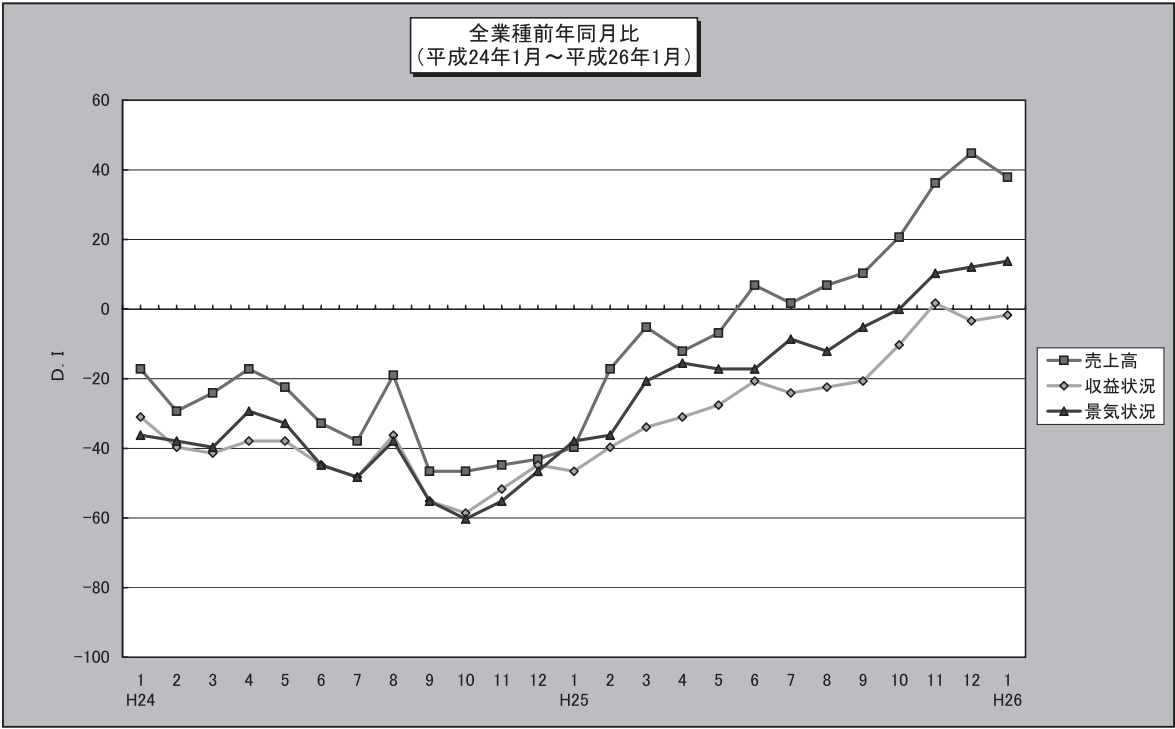
晴れ
16.7

天気図の見方

各景況項目について「増加」（又は「好転」）との回答を頂いた業種割合から「減少」（又は「悪化」）との回答を頂いた業種割合を引いた値をもとに作成しました。その基準は次の通りです。

快晴 25以上	晴れ 10～25 未満	くもり 10未満～ -10未満	雨 -10～ -25未満	大雨 -25以下
------------	-------------------	-----------------------	--------------------	-------------

景況の推移（前年同月比）石川県分（主要3項目）



個別専門相談室開催のご案内

本会では、中小企業が正確な経営情報を獲得し、適切な経営判断を支援するため、組合、中小企業任意グループ及び公益法人等を対象とし、専門家を招聘し、事業運営等の相談に応ずることを目的とした個別専門相談室（無料）を設けておりますのでお気軽にご相談下さい。

相談は予約制（30分ごと）のため、希望の方は当日までに本会へご連絡願います。また、予約多数の場合は、相談時間の短縮をお願いする場合がありますので予めご了承下さい。

*** 連絡先 総務課 TEL 076-267-7711**

《日 程》

開催日	時 間	内 容	専門相談員
3月20日(木)	10:00～12:00 13:00～15:00	税 務・経 営 相 談 法 律 相 談	税 理 士 坂井 昭衛 弁 護 士 久保 雅史

《場 所》

金沢市鞍月2丁目 20 番地

石川県地場産業振興センター新館5階 石川県中小企業団体中央会 会議室

〈こちら中小企業関連情報室〉

「領収証」等に係る印紙税の非課税範囲が拡大されました

平成26年4月1日施行

掲 載 URL <http://www.nta.go.jp/shiraberu/ippanjoho/pamph/inshi/pdf/inshi-2504.pdf>

国税庁ホームページ

【主なポイント】

現在、「金銭又は有価証券の受取書」については、記載された受取金額が3万円未満のものが非課税とされていますが、平成26年4月1日以降に作成されるものについては、受取金額が5万円未満のものについて非課税とされることとなりました。

平成25年度補正予算案・平成26年度予算案・税制改正案

掲 載 URL <http://www.chusho.meti.go.jp/24fyHosei/131224pointA4.pdf>

中小企業庁ホームページ

【主なポイント】

- 中小企業・小規模事業者対策のポイント
- ・ものづくり・商業・サービス業革新補助金
- ・商店街活性化支援補助金
- ・創業促進補助金
- ・交際費課税の特例措置の拡充 など

「爽やかご当地酒完成」

～いしかわりキュール研究会完成祝う～

いしかわりキュール研究会

石川県内の酒販店有志でつくる「いしかわりキュール研究会」は20日、金沢産のユズとシヨウガを使ったリキュール「金沢ゆわく柚子と生姜のお酒」を発売した。同研究会の「ご当地リキュール」第3弾となる。

「金沢ゆわく」は湯涌地区産のユズと大桑地区産のシヨウガを、やちや酒造(同市)の本醸造酒に漬け込み、爽やかな口当たり仕上げた。県中小企業団体中央会が開発を支援した。ラベルには湯涌ゆかりの画家竹久夢二の美人画を採用した。300ミリ入り瓶が1500円(税別)。2800本

「ご当地リキュール」第3弾と



お披露目式の様子

限定で、県内の酒販店など8店で販売する。同日、金沢市湯涌町の旅館「かなや」でお披露目式が行われ、会員ら25人が完成を祝った。湯涌の旅館が「金沢ゆわく」に合う料理を提供した。

金沢市兼六町の石川県観光物産館は22日、約20年ぶりとなる1階、地下1階の全面改装を終えてオープンした。地酒屋や食品が並ぶ物販フロアの陳列スペースを拡充したほか、和菓子に関する風習や道具を展示するギャラリーを新設し、石川の食文化や工芸を広く発信する。

新たに県菓子工業組合の「石川県菓子文化ギャラリー」と浅野太鼓楽器店(白山市)の「太鼓の世界」を設けた。菓子文化ギャラリーでは氷室まんじゅう、紅白まんじゅう、紅白の鏡餅など季節ごとに異なる和菓子を食べる石川の文化を紹介。落雁の木型などの道具を展示した。リニューアルに合わせて、石川県地酒振興協同組合など第30回かなざわ冬の旅観光キャンペーン「いいね金沢」地酒・新酒まつりが開催された。観光客らが地酒を試飲し、香りや味を堪能した。3月30日まで。

協同組合石川県観光物産館

県観光物産館展示コーナー新設

20年ぶり
改装オープン

平成26年2月23日(日)／北國新聞朝刊掲載

ご利用下さい「信用保証制度」



ご負担は保証料のみ
—相談料・用紙代金など一切不要—

- ◎経営状況に応じたきめ細かい保証料率で資金調達を応援
- ◎法人代表者以外の保証人は原則不要
- ◎資金ニーズにあった保証制度をご用意
- ◎流動資産を担保に資金運用を効率化
- ◎セーフティネット保証も充実
- ◎長期借入れや反復継続の信用保証も可能
- ◎団体信用生命保険制度によるプラスワンサービス

活用しやすい7つの特長

 石川県信用保証協会

◇保証部◇

〒920-0918 金沢市尾山町9番25号

TEL (076) 222-1522 (代) FAX (076) 222-1514

ホームページアドレス <http://www.cgc-ishikawa.or.jp/>

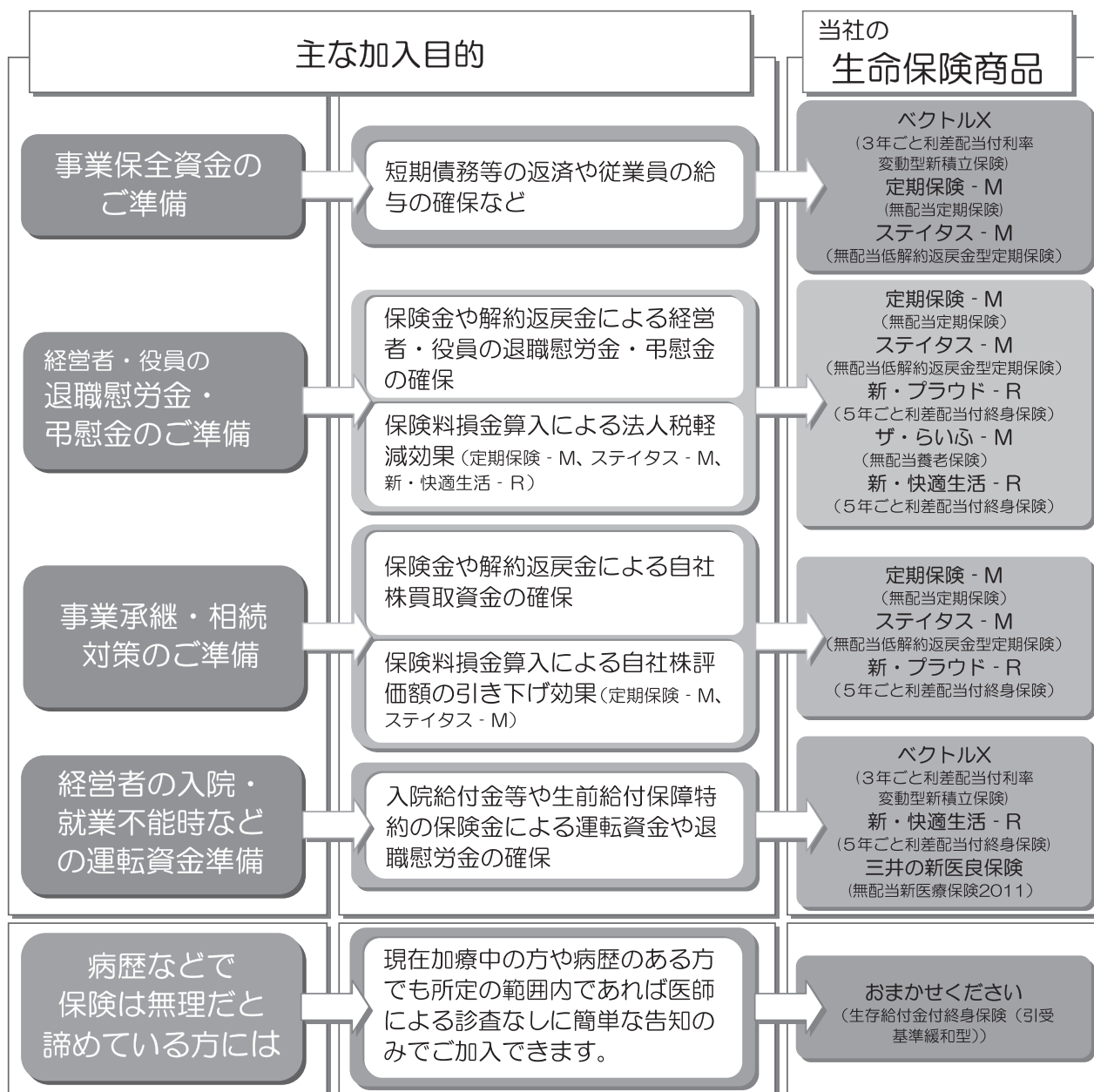
石川県中央会会員組合に所属する組合員の皆さまへ



法人向け生命保険のご案内

企業を取り巻くさまざまなリスクに対しては、目的に合った生命保険で準備することが必要です。

生命保険でのご準備は十分でしょうか？



*解約された場合、以後の保障はなくなります。

*詳しくは、「各商品パンフレット」をご覧ください。
ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

【お問い合わせ】

三井生命保険株式会社 北陸支社

〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 ボルテ金沢 8F
TEL: 076-263-3256

<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

Ishikawa
IT
Human Resource Development
Center

「持続的なイノベーション」を支える中核的人材の育成を目指す

株式会社 石川県IT総合人材育成センター



「いしかわビジネススクール」、「いしかわ技術経営(MOT)スクール」、情報技術に関連する研修講座を開講。研修講座の総合化と中核人材の育成に力点をおいた研修サービス、受託研修サービスなどをご提供します。

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目1番地

TEL:076-267-8000 FAX:076-268-8570

<http://www.ishikawa-sc.co.jp>

情
包
通
心。

社会を包み支え、心通うソリューションを。

ライフラインや行政・教育などあらゆるシーンで
唯一無二の存在となった情報通信。
卓越したノウハウと技術が自慢のICCは、
今日も皆様の心に寄り添い、暮らしを包み支える
IT情報サービスを提供しています。

自治体
ソリューション

医療
ソリューション

民間
ソリューション

セキュリティ
ソリューション

アウトソーシング
サービス

ネットワーク
サービス



株式会社
石川コンピュータ・センター

〒920-0398 金沢市無量寺町ハ6番地1号
TEL(076)268-8311(大代) FAX(076)268-5442
<http://www.icc.co.jp>

損害保険集団扱制度のご案内

★【自動車保険・火災保険】

石川県中小企業団体中央会では、組合員の企業経営並びに従業員の福利厚生を充実するため、会員の皆様に中央会損害保険集団扱制度(自動車保険・火災保険)のご加入をお勧めしております。
つきましては、本制度について引受損害保険会社の取扱代理店が説明させて頂きたく、訪問した際にはよろしくお願いいたします。

《損害保険集団扱制度の概要》

特 徴

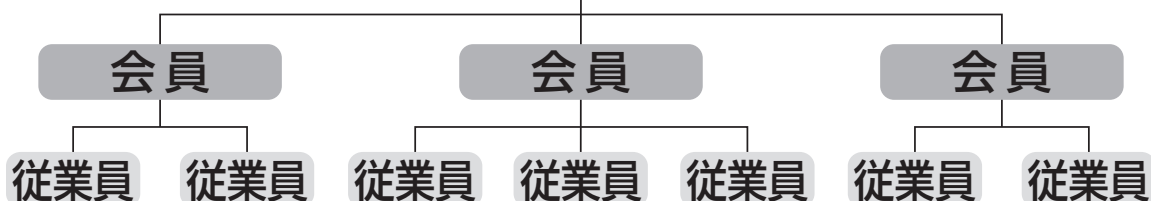
- ◎保険料は、一般契約より5%割安です。(保険料一時払の場合)
- ◎手続きは、年1回払い、口座引落しです。
- ◎下記損害保険会社と契約を行っている方は、現在契約している取扱代理店で制度利用が出来ます。
- ◎自動車保険
 - ・既加入自動車保険は、無事故割引などをそのまま継承できます。
 - ・業務用車両も対象になります。
- ◎火災保険
 - ・普通火災、住宅火災、住宅総合、店舗総合、団地保険が対象となります。

対 象

(中央会指定の確認票を提出願います。)

- ◎中央会の会員(組合・企業・団体) ◎会員の傘下企業、事業主及び従業員

県中央会



お問合せ先

石川県中小企業団体中央会 TEL.076-267-7711

〈本制度引受損害保険会社〉

三井住友海上火災保険株式会社……………TEL.076-223-9912

金沢支店 〒920-0918 金沢市尾山町6番25号

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社……………TEL.076-264-7811

金沢支店 〒920-0906 金沢市十間町5番地

日本興亜損害保険株式会社……………TEL.076-222-8610

北陸支店営業第1課 〒920-0869 金沢市上堤町2番28号

富士火災海上保険株式会社……………TEL.076-222-0005

金沢支店 〒920-0962 金沢市広坂1丁目2番24号

(2014年3月作成)

くみWai広場

こんにちは

事務局さん

事務局
西海有希子さん
真脇 杏奈さん
川口 文子さん
(右から)



石川県いか釣生産直販協同組合

仕事の内容を教えてください

西海：企画事務
真脇：お客様からの注文受付など
川口：経理事務担当

「座右の銘」「好きな言葉」は何ですか？

西海：雨にも負けず風にも負けず!!
真脇：一生懸命!
川口：成せば成る成さねば成らぬ何事も

最近、「1番うれしかったこと」又は「感動したこと」は何ですか？

西海：いしりコンテストとフォトコンテストで最優秀賞をも

らった事

真脇：成人式で久しぶりに同級生に会えた事
川口：子供の成長です

組合のPRをお願いします

当組合は能登小木港で水揚げした船凍イカを、当産地において加工を施し販売を行うことに初めて取り組み、その事業強化のために設立されました。全国の方に能登小木港の船凍イカを知ってもらいお使いいただくことを使命とし、先駆者としての誇りを持ち、まじめにイカ商品の開発・製造・販売に取り組んでいます。「能登いか屋さん」の愛称で地元の方々にも親しんでいただける組合を目指しています。

当コーナーに登場していただける事務局さんを募集中です! 自薦、他薦は問いませんので、中央会事務局まで連絡をお待ちしています!

From 編集室

日本人選手がフィギュアスケートやジャンプ、スノーボードなど様々な種目で活躍したソチでの冬季オリンピックも終わり、あたたかい陽気を感じる春の季節がやってきました。今回の特集号で今年度の会報も最後の発刊となります。昨年春から新しくこの会報誌の担当をし、ここまでやってこれたのも、前担当のE先輩を始め、取材先の組合の方々など皆さんのおかげです。次号からも会報誌の担当となるかわかりませんが、これからも様々な会員様に有益な情報をご提供できる「石川県中央会会報」になれると思います。



編集者H

Q プレゼントクイズ

事務局さんで取材させていただいた石川県いか釣生産直販協同組合は「能登〇〇屋さん」の愛称で地元の方々にも親しんでいただける組合を目指しています。〇にあてはまる2字をお答えください。

「能登〇〇屋さん」

正解者の中から抽選で3名の方に、粗品を差し上げます。

今後、よりよい誌面づくりを行うために読者の皆さんからのご意見、ご要望をお伺いしたいと思いますので、同封のプレゼント付き読者アンケート回答へのご協力をお願いします。少しでも多くの“声”をお待ちしています。

回答は中央会 FAX: 076-267-7720 までお送り下さい。

この一言、あの名言【冬季五輪のメダリストたち 編】

- 「自分に自信になるものを、ひとつでもいいから手に入れる」
【スキージャンプ 船木和喜】
- 「失敗したら、その時点で次を考えればいい」
【ノルディック複合 萩原健司】
- 「非常識と言われていたことでも、結果を出せば常識に変わる」
【スピードスケート 清水宏保】
- 「自分も痛くないと思えば痛くない。心を強く持つために言わない」
【フィギュアスケート 浅田真央】
- 「また金メダルという目標ができた」
【スキージャンプ 葛西紀明】